組立・施工説明書 リアルポートⅢ ワイドタイプ

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に…
商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後で…
取扱説明書をお施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

説明図中の部品には、< >で同梱先を表示しています。

チェックシート

組立・施工時、本文中に表示している「チェックマーク」の確認をしてください。

	項目	チェック欄
❶	基礎寸法	
❷	シーリング	
❸	柱の間隔・垂直・対角・後枠の水勾配	
❹	側枠・垂木取付ねじの締付け	
❺	柱の水抜き穴	
❻	屋根材ののみ込み	
❼	屋根材押えの押しあて	
❽	屋根材押え取付ねじの締付け	

注 意

●このカーポートは積雪～20cm 地域用｛積載荷重 600N/m²（61.2kgf/m²)｝です。
積雪量が 20cm を超える前に雪おろしをすることを施主様に確認してください。商品が破損するおそれがあります。
※雪おろしの目安は、積雪 1cm 当たり 30N/m² で計算しています。
湿った雪の場合等は、1cm 当たりの重さがさらに大きくなる場合がありますので、早めに雪おろしを行ってください。
●カーポートを傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。商品に倒壊のおそれがあります。
●屋根材の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。
基礎コンクリートは、4～7日の養生期間が必要です。
●脚立を使用する際は、天板の上に乗ること、またがること、座ることが禁止されています。
脚立は、脚立メーカー発行の取扱説明書を必ずお読みの上、ご使用ください。

注 意

長さ方向張出し部のみ切詰めると、カーポート屋根部の荷重バランスが崩れ、積雪時や暴風時に商品が破損するおそれがあります。
切詰めを行う際は、おおむね規格サイズの長さ比率(a:b:a)になる位置に柱移動を行ってください。

シーリングは必ず実施してください！

●「シーリングマーク」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください。**
シーリングがされないと、**漏水の原因**となります。
●ポリカーボネート板へのシーリングは、ひび割れ防止のためと樹脂との接着性が良い脱アルコール形のシーリング材をご使用ください。（別途手配品）

シーリングマーク

お願い

●屋根からの落雪が予想される場所では、カーポートに直接落雪しないようにご配慮ください。（図参照）
●みだりに改造や変更はしないでください。
●基礎コンクリートには**塩素系の混和剤（急結剤等）や海砂を使用しない**でください。
柱の腐食の原因となります。
●屋根面に銀色フィルムを貼らないでください。
太陽光線の反射により火災のおそれがあります。
●凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、柱に水抜き穴をあけてください。
●組立ては、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
締め付け不良は漏水や性能低下および事故の原因になります。
●ユニットの組替え等により製作する場合は製作範囲を確認して製作してください。
製作範囲を超えると事故（人損、物損）の原因になります。
●カーポートの上に乗らないでください。カーポートにはしごをかけないでください。
カーポートの破損だけでなく落下事故の原因になります。
●部材を切詰めする際、水密材のかしめ部分を切断する場合は、部材の端部をペンチ等でかしめ直してください。

全体構成図

寸法図（単位：mm）

土間コンクリート考慮基礎条件

本基礎の場合は、下記各条件を満たしていることを確認してください。
条件を満たしていない場合は、「独立基礎」の大きさにして施工してください。

基礎条件
❶土間コンクリート厚：100㎜以上、有筋
❷土間コンクリート強度：18N／㎟以上
❸縁端距離：200㎜以上
❹地耐力：50KN／㎡以上

■基本セット

※（　）の柱寸法は、5460、5760の場合

呼称	D	G	H	A	B	C
D48	4801	4666	2000	2348	2093	438
			2355	2703	2448	
			2800	3148	2893	
D51	5097	4962	2000	2383	2093	474
			2355	2738	2448	
			2800	3183	2893	
D54	5392	5257	2000	2419	2093	509
			2355	2774	2448	
			2800	3219	2893	
D60 (L50)	5983	5848	2000	2490	2093	580
			2355	2845	2448	
			2800	3290	2893	
D60 (L54・57)		5827	2000	2485	2106	
			2355	2840	2461	
			2800	3285	2906	

●土間コンクリート考慮基礎の場合
※採用条件については、**土間コンクリート考慮基礎条件**を参照

カーポートサイズ	D60	左記以外のサイズ
基礎寸法 E×F	470×470	410×410

●独立基礎の場合

カーポートサイズ	D48・51・54	D60
基礎寸法 E×F	670×670	700×700

お願い

屋根の長さ方向に水勾配 $\frac{2\sim4}{1000}$ mmをつけてください。
雨樋側の柱高さを6～14mm低くすると、$\frac{2\sim4}{1000}$ mmの水勾配になります。
逆勾配は雨漏り・雨溜まりの原因になります。

■基本＋延長セット

呼称	Lt	A
L50+L14	6484	1772
L57+L14	7200	1930

※（　）の柱寸法は5760の場合です。

■たて連棟

並列カバー取付けの際は、柱位置が異なりますので並列カバーの組立・施工説明書をご覧ください。

	呼称	Lt	A
	L50+L50	10064	2112
※	L50+L54	10412	2186
	L50+L57	10780	2270
	L54+L54	10760	2260
※	L54+L57	11128	2344
	L57+L57	11496	2428

※の組合せは、基本セット側とたて連棟用セット側の垂木ピッチが異なります。

※（　）の柱寸法は5460、5760の場合です。

同梱一覧

■柱ユニット HC#-(DS)#A### HC#-(DS)#A###-1# HCD-(DS)WA##A-2T2

	部材	部品	
姿図	—		
部材・部品名	柱	たて樋	呼び樋
品番		K-34805	K-34805
HC#-(DS)#A20#	2	1（L=1950）	1（L=1300）
HC#-(DS)#A24#	2	1（L=2300）	1（L=1300）
HCD-(DS)WA20A-2T2	2	2（L=1950）	2（L=1300）
HCD-(DS)WA24A-2T2	2	2（L=2300）	2（L=1300）
HC#-(DS)#A28#-1T	1	1（L=2750）	1（L=1300）
HC#-(DS)#A28#-1	1	—	—
HCS-(DS)RA20A-1T	1	1（L=1950）	1（L=1300）
HCS-(DS)RA24A-1T	1	1（L=2300）	1（L=1300）

■梁ユニット HCD-(DS)WB### HCD-(DS)WB###-1

部材名	梁
品番	—
HCD-(DS)WB###	2
HCD-(DS)WB###-1	1

■母屋 HCD-(DS)WL####

部材名	母屋
品番	—
HCD-(DS)WL5#36	5
HCD-(DS)WL5#42	4
HCD-(DS)WL5#	6
HCD-(DS)WL5#60	8

■側枠ユニット HCD-(DS)WC##

	部材		部品					
姿図	—	—						
部材・部品名	側枠	屋根材押え	パッキン	後枠キャップ	後枠キャップ	棟木小口カバー	ドレン	穴隠し
品番	—	—	3K-21853	2K-39039	2K-39040	K-36941	2K-31200	K-36937
備考		（側枠用）						
HCD-(DS)WC36以外	2	4	4	2	2	2	2	2
HCD-(DS)WC36	2	2	4	2	2	—	2	2

■棟木・後枠ユニット HCD-(DS)WD####

部材名	棟木	後枠
品番	—	—
HCD-(DS)WD5#	1	2
HCD-(DS)WD##36	—	2

■垂木ユニット HC#-(DS)#E####

部材名	垂木	屋根材押え
品番	—	—
備考		（垂木用）
HCD-(DS)WE5136・HCS-(DS)RE51##	6	6
HCD-(DS)WE36 ・HCS-(DS)RE##	7	7
HCS-(DS)RE2221	2	2
HCS-(DS)RE2921	3	3

■連棟垂木ユニット HC#-(DS)#EJ##

部材名	連棟垂木	屋根材押え
品番	—	—
個数	1	1

■ジョイント材ユニット CC#-(DS)#G###

姿図		
部品名	ジョイント材	
品番	5K-19110	5K-16549
CCD-(DS)WGJN	4	—
CCD-(DS)WG2JN	2	—
CCS-(DS)RGA2J	—	2

■部品ユニット HCD-(DS)-WG####

姿図									—
部品名	柱アンカー	柱カバー		雨樋セット	緩衝材	座金組込六角ボルト（M8×25）	トラスタッピンねじ（φ5×10）	穴塞ぎシール（φ14）	組立・施工説明書
品番	K-11711	5K-17920	5K-17921	EA-E1	2K-49907	2K-17611	ET-5010	K-40433	—
備考						柱・梁取付用		柱移動用	
HCD-(DS)WG36	4	—	4	2	40	32	258	16	1
HCD-(DS)WG51	4	—	4	2	42	32	280	20	1
HCD-(DS)WG57	4	—	4	2	48	32	308	20	1
HCD-(DS)WG5160	4	—	4	2	56	32	368	24	1
HCD-(DS)WG5760	4	4	—	2	64	32	406	24	1

■連棟部品ユニット HC#-(DS)#GJ##
■棟木・後枠・母屋ユニット(延長セット用) HCD-(DS)WD14###

	部材			部品						
姿図	—	—	—							
部材・部品名	棟木	後枠	母屋	前枠連結材	後枠連結材	後枠連結金具	母屋連結材	ドレン	穴隠し	雨樋セット
品番				3K-19543	4K-17641	4K-17642	4K-16287	2K-31200	K-36937	EA-E1
備考										
HCD-(DS)WGJ36	—	—	—	—	2	2	5	2	2	—
HCD-(DS)WGJ42	—	—	—	2	2	2	4	2	2	—
HCS-(DS)RGJ	—	—	—	1	1	1	3	1	1	—
HCD-(DS)WD1436	—	2	5	—	2	2	5	2	2	2
HCD-(DS)WD1442	1	2	4	2	2	2	4	2	2	2
HCD-(DS)WD14	1	2	6	2	2	2	6	2	2	2
HCD-(DS)WD1460	1	2	8	2	2	2	8	2	2	2
HCD-(DS)WD1460C	1	2	8	2	2	2	8	2	2	2

	部品					
姿図						
部材・部品名	柱アンカー	柱カバー		緩衝材	座金組込六角ボルト（M8×25）	トラスタッピンねじ（φ5×10）
品番	K-11711	5K-17920	5K-17921	2K-49907	2K-17611	ET-5010
備考					柱・梁取付用	
HCD-(DS)WGJ36	—	—	—	—	—	15
HCD-(DS)WGJ42	—	—	—	—	—	28
HCS-(DS)RGJ	—	—	—	—	—	16
HCD-(DS)WD1436	2	—	2	14	16	113
HCD-(DS)WD1442	2	—	2	14	16	124
HCD-(DS)WD14	2	—	2	14	16	150
HCD-(DS)WD1460	2	—	2	16	16	184
HCD-(DS)WD1460C	2	2	—	16	16	184

■屋根材ユニット（厚さ：1.8mm）

ユニット記号	サイズ 長さ	サイズ 幅	数量
CCD-(DS)TF36-2＊#	3591	700	2
CCD-(DS)TF36-3＊#			3
CCD-(DS)TF5436-2＊#		654	2
CCS-(DS)RF21-3＊#	2082	706	3
CCS-(DS)RF21-4＊#			4
CCS-(DS)RF5421-4＊#		654	4
CCS-(DS)RF24-3＊#	2387	706	3
CCS-(DS)RF24-4＊#			4
CCS-(DS)RF5424-4＊#		654	4
CCS-(DS)RF25-3＊#	2539	706	3
CCS-(DS)RF25-4＊#			4
CCS-(DS)RF5425-4＊#		654	4
CCS-(DS)RF27-3＊#	2691	706	3
CCS-(DS)RF27-4＊#			4
CCS-(DS)RF5427-4＊#		654	4
CCS-(DS)RF30-3＊#	2995	706	3
CCS-(DS)RF30-4＊#			4
CCS-(DS)RF5430-4＊#		654	4

末尾の＊＃は屋根材の種類を表わします。

組立・施工要領

長さ違い連棟時の注意

カーポートサイズにより、柱・梁・ジョイント材の強度が違います。
カーポートサイズに対応したラベルの色を確認して施工してください。（部材に色付ラベル有）
間違った組合せで施工すると、破損の原因となります。延長セット使用時も同様です。
施工後、ラベルをはがしてください。

柱・梁・ジョイント材のサイズ別ラベル色

呼称	D48	D51	D54	D60
延長(L14)	緑	緑	緑	※
L50	緑	緑	緑	紫
L54	緑	緑	紫	青
L57	緑	紫	紫	青

強度：緑＜紫＜青

※1460の場合：(L50+L14)は緑、(L57+L14)は青

例：たて連棟 D54 L50+L57 の場合

1.基礎の施工 寸法図をご覧ください。

お願い

●地盤のゆるいところでは、さらに大きくしてください。
●割栗石、砂利または砕石を敷き均し、突固めてください。

2.柱の建込み・仮固定

ポイント
柱アンカーの脱落防止
例：輪ゴムを柱アンカーにひっかける

※延長セットの場合：棟木・後枠・母屋ユニット

●土のう袋、木片等を利用して柱を仮固定してください。
●キズ防止のため、柱を段ボール等で養生してください。

3.梁とジョイント材の組立

※ボルトは屋根組立・寸法確認後、本締めします。

4.梁の取付

※ボルトは屋根組立・寸法確認後、本締めします。

柱・梁取付用 ※〈部品ユニット〉
座金組込六角ボルト（M8×25）
※延長セットの場合：棟木・後枠・母屋ユニット

柱カバーを取付けてください。
柱カバー〈部品ユニット〉

柱を移動した場合

●前枠・後枠・母屋を梁位置に合わせて穴をあけてください。
●既存の加工穴には穴塞ぎシール〈部品ユニット〉を貼ってください。

組立・施工要領

5.後枠の取付
※長さ切詰めする場合は、**長さ切詰めする場合**を参照

❶後枠の水下側に、水抜き穴をあけてください。
水抜き穴（φ5）

❷後枠にパッキンを取付けてください。

ポイント
後枠ヒレにパッキンを突きあててください。
後枠ヒレ　パッキン〈側枠ユニット〉

シーリング
パッキンのまわりをシーリング
パッキン　後枠　シーリング材　チェック❷

❸後枠にドレン・穴隠しを取付けてください。
後枠　水上側　水下側　穴隠し※〈側枠ユニット〉　ドレン※〈側枠ユニット〉
※たて連棟の場合：連棟部品ユニット
※延長セットの場合：棟木・後枠・母屋ユニット

ドレン・穴隠し取付用 ※〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

ポイント
ドレンの向きに注意してください。
後枠　ドレン

シーリング
取付前：ドレン　穴隠し　シーリング材　チェック❷
取付後：ねじ部をシーリング　ねじ部　後枠　ドレン・穴隠し　シーリング材　チェック❷

❹後枠を取付けてください。
後枠　梁　柱

後枠取付用 〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

長さ切詰めする場合
切詰め側に左右同様の切欠き加工をしてください。
後枠は加工が異なるため、下記を参照してください。

❶切欠き
後枠　30　26

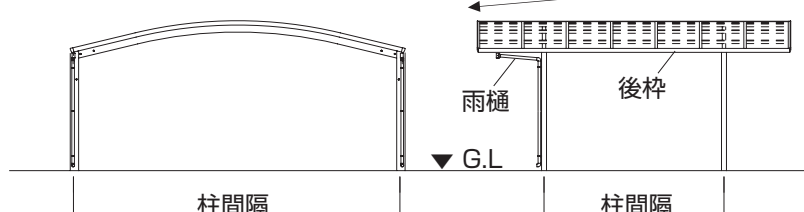
お願い
必ず水抜き穴をあけてください。
雨水が排水されず、雨漏りの原因になります。

❷穴加工
11　φ4.5　10　10　10　3－φ5（水抜き穴）　6.5　7　φ6

6.棟木の取付
棟木　梁

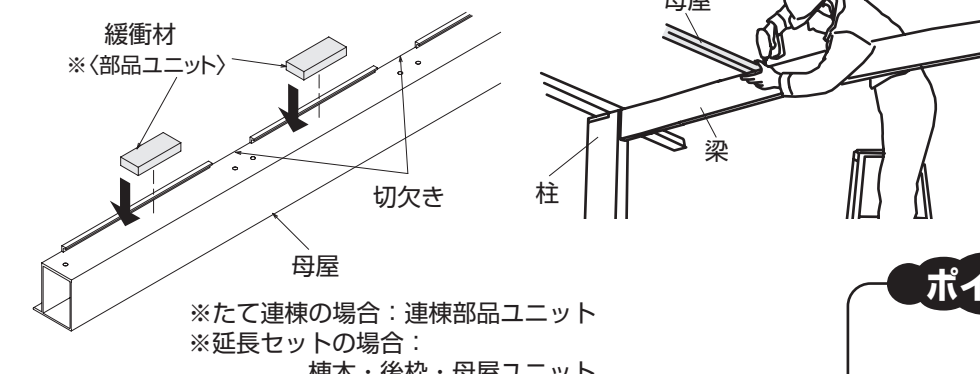
棟木取付用 〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

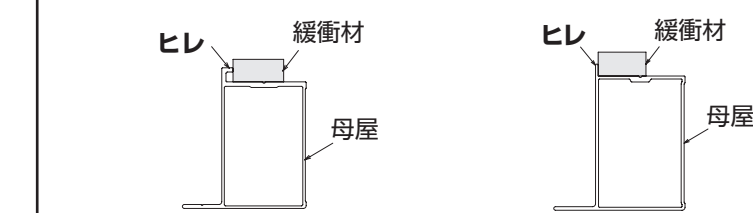
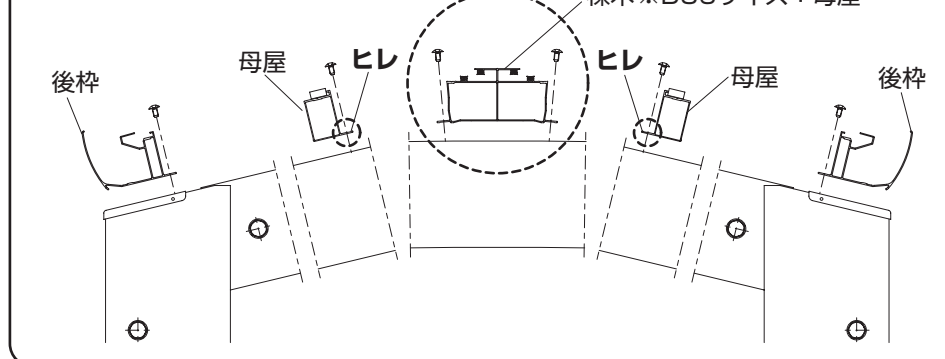
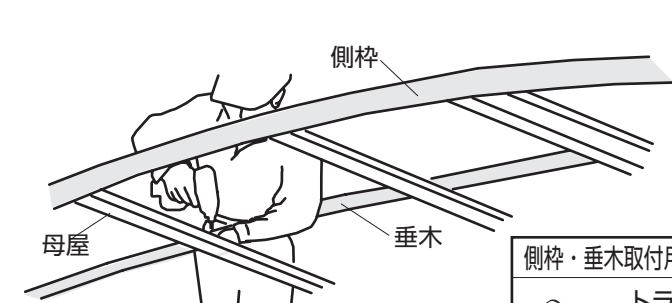
7.寸法確認・調整
❶柱の間隔・垂直・対角
❷後枠（長さ方向）の水勾配
※雨樋取付側が水下側

チェック❸
柱　対角寸法　屋根　水勾配　雨樋　後枠　G.L　柱間隔

ポイント
寸法がでていない場合は、部材を動かして調整してください。

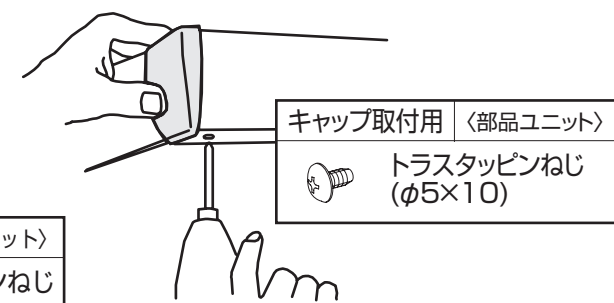
■柱の対角寸法（寸法は調整用の目安）

呼称	対角寸法	呼称	対角寸法	呼称	対角寸法
5048	5338	5448	5447	5748	5560
5051	5592	5451	5695	5751	5804
5054	5848	5454	5948	5754	6052
5060	6372	5460	6422	5760	6518

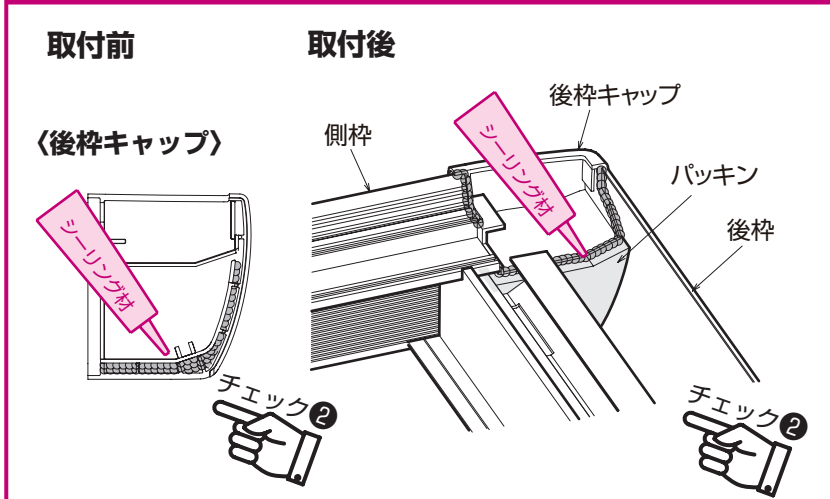
8.母屋の取付
緩衝材を母屋の切欠きと切欠きの中心部分に貼付け、母屋を取付けてください。
緩衝材※〈部品ユニット〉　切欠き　母屋　柱　梁
※たて連棟の場合：連棟部品ユニット
※延長セットの場合：棟木・後枠・母屋ユニット

母屋取付用 〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

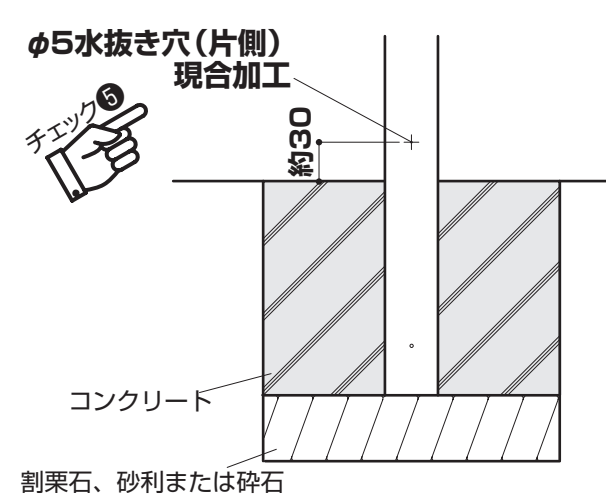
ポイント
母屋のヒレに突き当てて貼付けてください。
ヒレ　緩衝材　母屋

ポイント
母屋のヒレを棟木側に向けてください。
棟木※D36サイズ：母屋
後枠　母屋　ヒレ

9.側枠・垂木の取付
側枠　垂木　母屋

側枠・垂木取付用 〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

後枠キャップを取付けてください。

キャップ取付用 〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

ポイント
前枠側 ➡ 後枠側 ➡ 母屋部
の順でねじ止めすると、穴位置が合わせやすくなります。

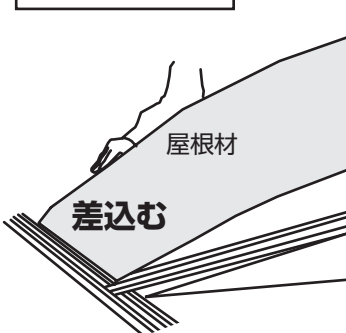
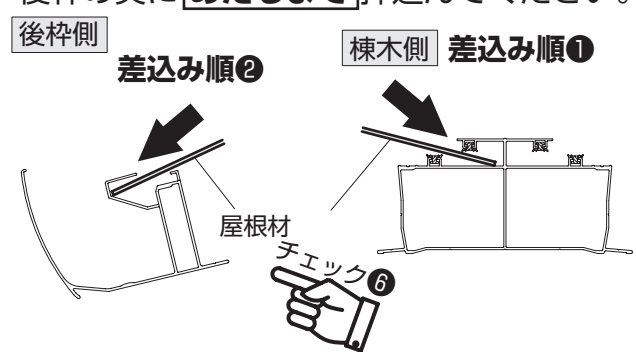
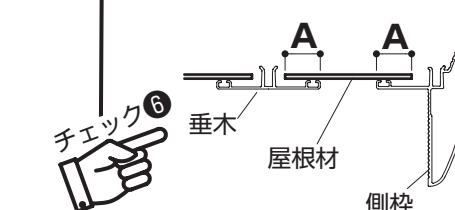
お願い
ねじは確実に締付けてください。
雨漏りの原因になります。
ねじ浮き　斜め取付　チェック❹

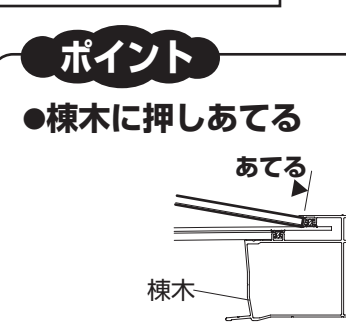
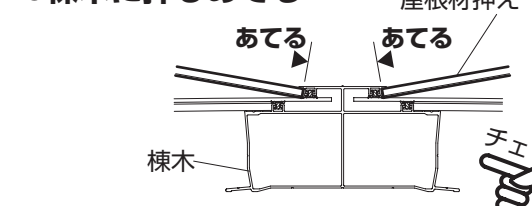
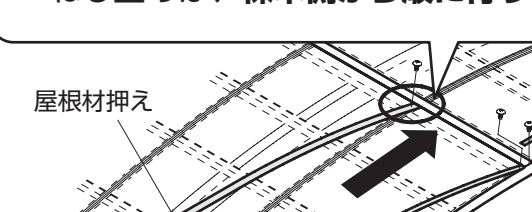
シーリング
取付前（後枠キャップ）　取付後
側枠　後枠キャップ　パッキン　後枠　シーリング材　チェック❷

10.本体の仮固定と柱・梁取付ボルトの本締め
❶再度寸法を確認してください。
❷柱・梁取付ボルトを本締めしてください。

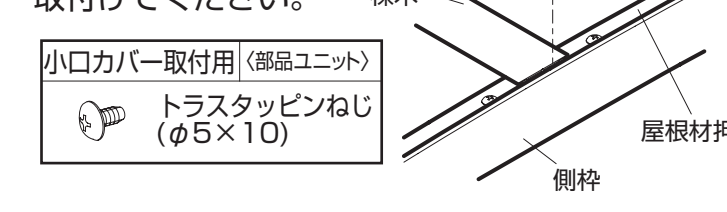
11.基礎コンクリートの打込み
φ5水抜き穴（片側）現合加工
約30　チェック❺
コンクリート　割栗石、砂利または砕石

お願い
凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、必ず水抜き穴をあけてください。

注　意
屋根材の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。
基礎コンクリートは、4～7日の養生期間が必要です。

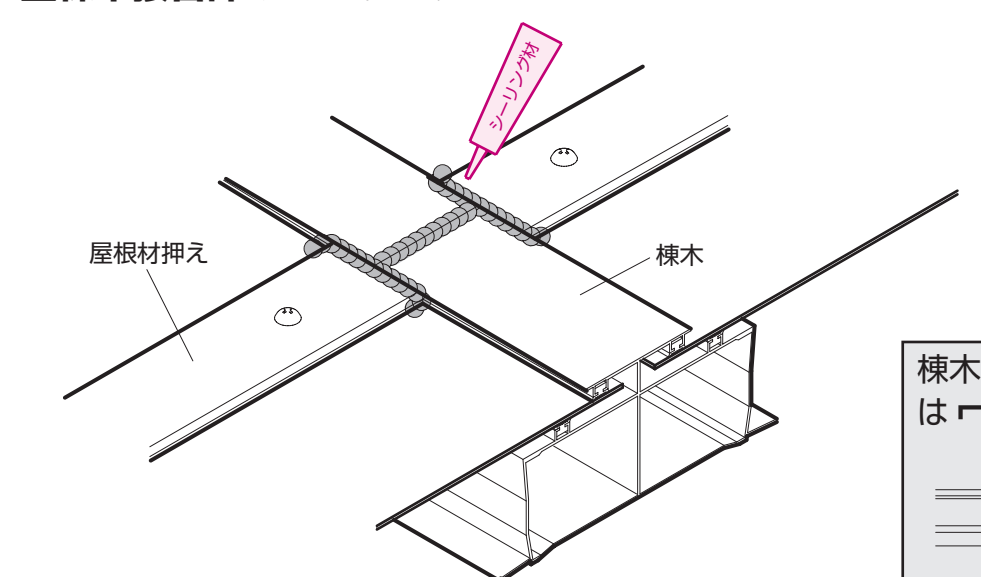
12.屋根材・屋根材押えの取付
取付前に、屋根材の養生フィルムをはがしてください。

屋根材の取付
屋根材　差込む

ポイント
後枠の奥に**あたるまで**押込んでください。
後枠側 差込み順❷　棟木側 差込み順❶
屋根材　チェック❻

お願い
屋根材ののみ込みAが左右同じになるように調整してください。
片側ののみ込みが浅いと耐荷重性能低下の原因になります。
A　垂木　屋根材　側枠　チェック❻

屋根材押えの取付

ポイント
●棟木に押しあてる
あてる　屋根材押え　棟木　チェック❼
●ねじ止めは、**棟木側から順に行う**

屋根材押え

屋根材押えを取付後、棟木小口カバーを取付けてください。
棟木小口カバー　棟木　屋根材押え　側枠

小口カバー取付用 〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

屋根材押え取付用 〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

お願い
ねじは確実に締付けてください。
雨漏りの原因になります。
ねじ浮き　斜め取付　チェック❽

シーリング
棟木　棟木小口カバー　屋根材押え　側枠　シーリング材　チェック❷
棟木と屋根材押え部は ┌┐字型にシーリングをしてください。
屋根材押え　垂木

13.雨樋の取付
〈たて樋・呼び樋以外の部品（雨樋セット）は、部品ユニットに入っています。
延長セットの場合、棟木・後枠・母屋ユニットに入っています。〉

ドレン　呼び樋長さ　ゴミ出しエルボ　呼び樋〈柱ユニット〉　25　ブラケット（ベース）　たて樋〈柱ユニット〉　たて樋は現合で切断　ブラケット（アーム）　エルボ

ブラケット（ベース）取付用 ※〈部品ユニット内の雨樋セット〉
なべドリルねじ（φ4×16）

※延長セットの場合：棟木・後枠・母屋ユニット内の雨樋セット

ポイント
以下の場合は、柱に下穴φ3.5をあけてください。
●斜線部のジョイント材部分に取付ける場合
●H28柱（補強材入）に取付ける場合

取付け位置図
後枠　ドレン　梁側　柱側面　たて樋　46　88（110）　134（156）
（　）はD60　L54、L57の場合

柱標準位置での呼び樋長さ

呼称	切断寸法
L14	331(326)
L50	673
L54	747(742)
L57	831(826)

（　）はD60サイズの場合

接着剤で順次接着してください。

たて連棟する場合

1.部材の加工
棟木・後枠・母屋の連結部に穴加工（φ6）を行ってください。

形材断面図	加工内容
棟木	2－φ6通し　2－φ6通し　60　7　7　60
棟木	4－φ6　4－φ6　60　7　7　60
後枠	φ6　φ6　67　67
後枠	2－φ6　2－φ6　60　7　7　60
母屋	2－φ6　2－φ6　60　7　7　60
母屋	2－φ6　2－φ6　60　7　7　60

2.たて連棟する場合の組立
〈部品は連棟部品ユニットに入っています。
延長セットの場合、棟木・後枠・母屋ユニットに入っています。〉

組立・施工説明書 リアルポートⅢ ワイドタイプ たて並列カバー

'14-10月 発行

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に…
商品を正しく組立･施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後に…
取扱説明書をお施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

お願い

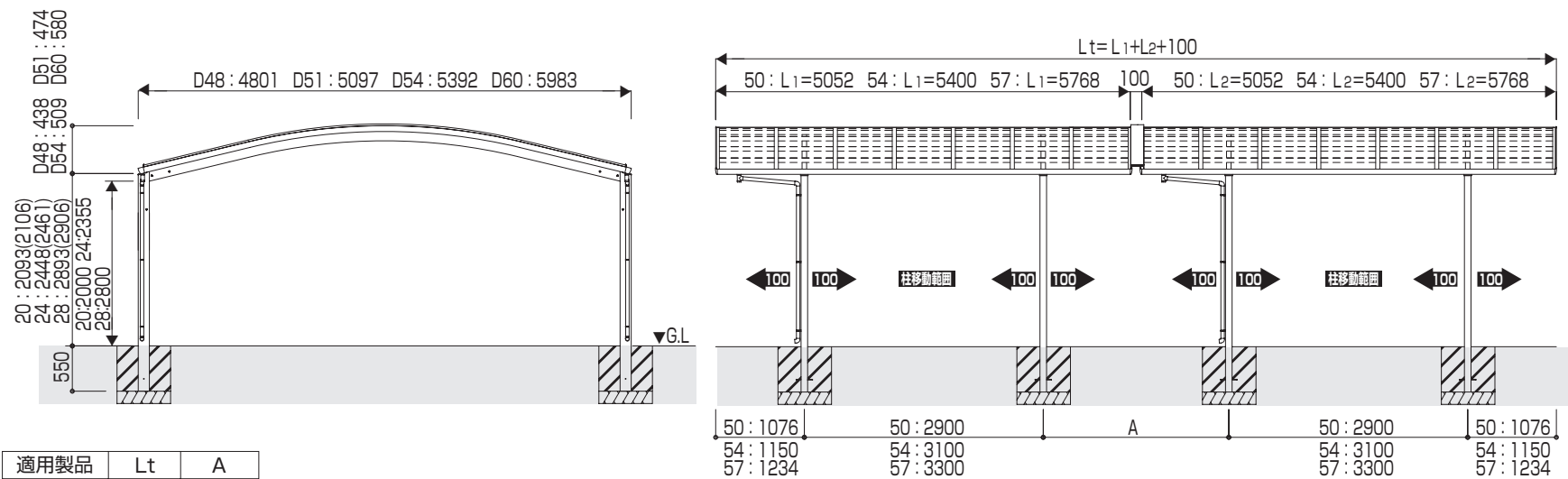
- みだりに改造や変更はしないでください。
- 組立は、所定のねじを使用して最後まで締めつけてください。締め付け不良は、漏水や性能低下および事故の原因になります。
- 本体にキズをつけますと、腐食しやすくなりますので、取扱いには十分ご注意ください。
- 商品の上に乗ったり、はしごを掛けないでください。商品の変形だけでなく、落下事故の原因になります。

本説明書は、**「リアルポートⅢ ワイドタイプ たて並列カバー」**の組立・施工要領を記載しています。
カーポート本体の組立・施工要領については、本体に同梱の組立・施工説明書をご覧ください。

全体構成図

寸法図（単位：mm）

D48：4801　D51：5097　D54：5392　D60：5983
D51：474　D60：580
D48：438　D54：509
20：2093(2106)　24：2448(2461)　28：2893(2906)
20:2000　24:2355　28:2800
550　G.L

Lt＝L1＋L2＋100
50：L1＝5052　54：L1＝5400　57：L1＝5768　100　50：L2＝5052　54：L2＝5400　57：L2＝5768
100　100　柱移動範囲　100　100　100　100　柱移動範囲　100　100
50：1076　54：1150　57：1234　|　50：2900　54：3100　57：3300　|　A　|　50：2900　54：3100　57：3300　|　50：1076　54：1150　57：1234

適用製品	Lt	A
L50+L50	10204	2252
L54+L54	10900	2400
L57+L57	11636	2568

（　）内寸法は54−60、57−60の場合の寸法です。
54−60、57−60を隣接する場合は、柱を14mm深く埋込むか、柱下端を14mm切断してください。

同梱一覧

■カバー材ユニット　CCD-(DS)WK1-＃＃

部材名	カバー材
品　番	−
備　考	
個　数	1

■カバー材部品ユニット　CCD-(DS)WK2-＃

姿　図					
品　名	カバー材ブラケット	連結材	小口キャップ(R)	小口キャップ(L)	トラスドリルねじ(φ4×13)
品　番	4K-19682	5K-10067	4K-19594	4K-19595	2K-13422
備　考					
CCD-(DS)WK2-1	10	10	1	1	20
CCD-(DS)WK2-2	12	12	1	1	24

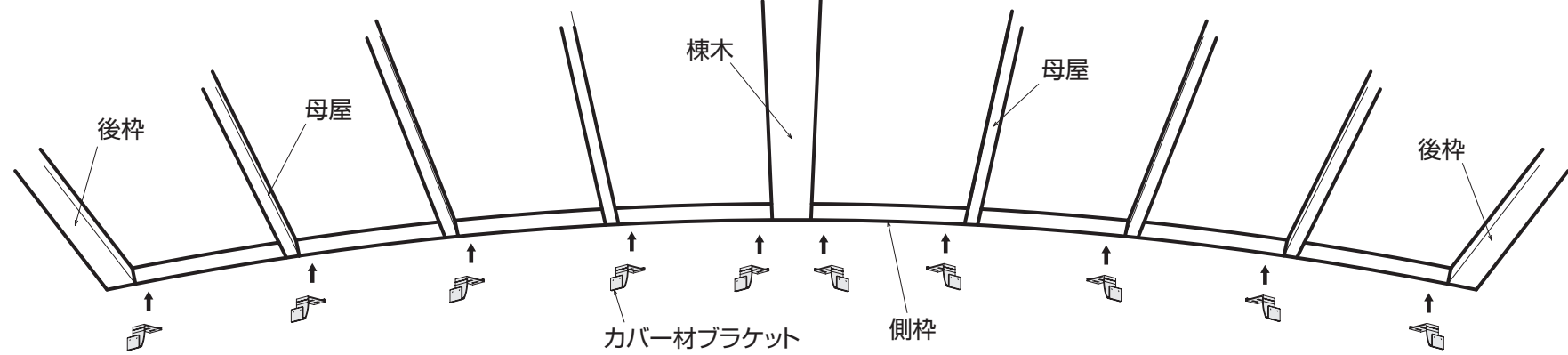
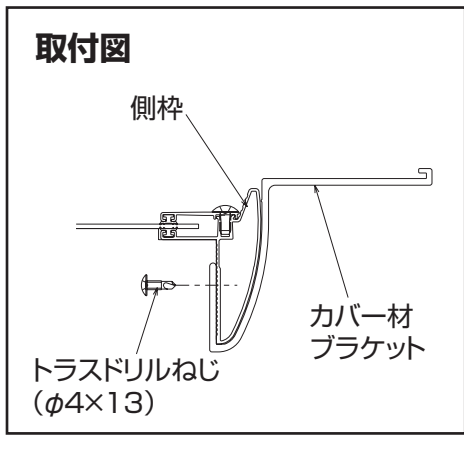
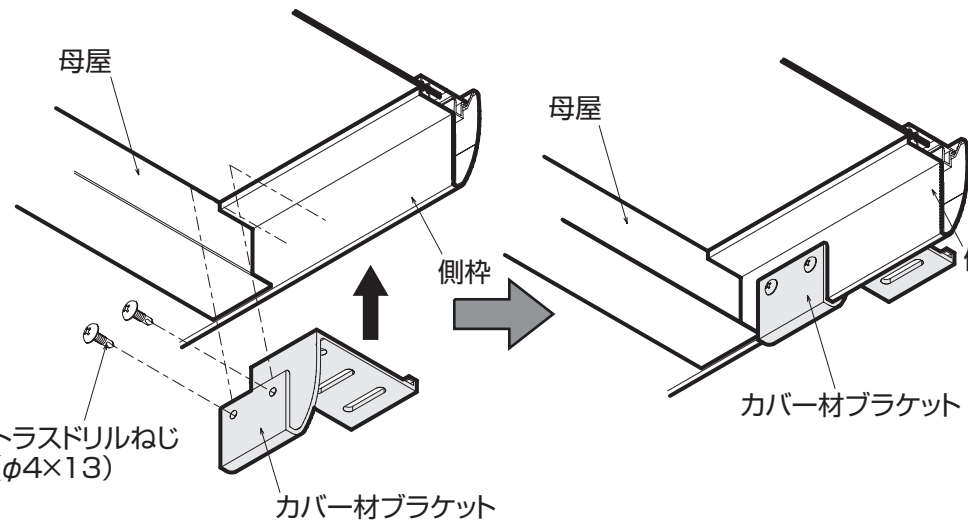
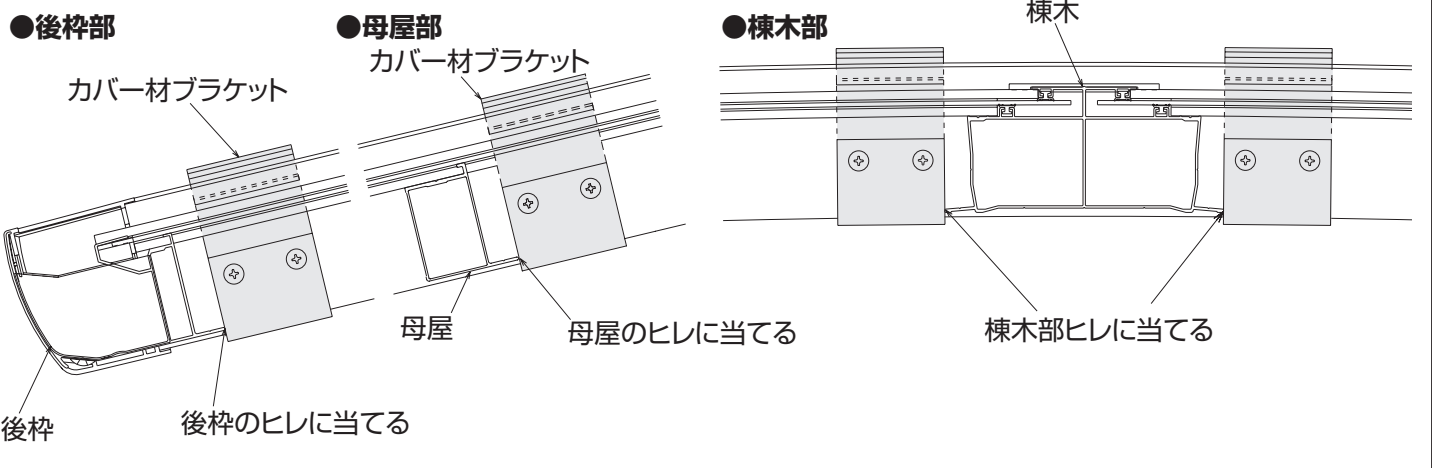
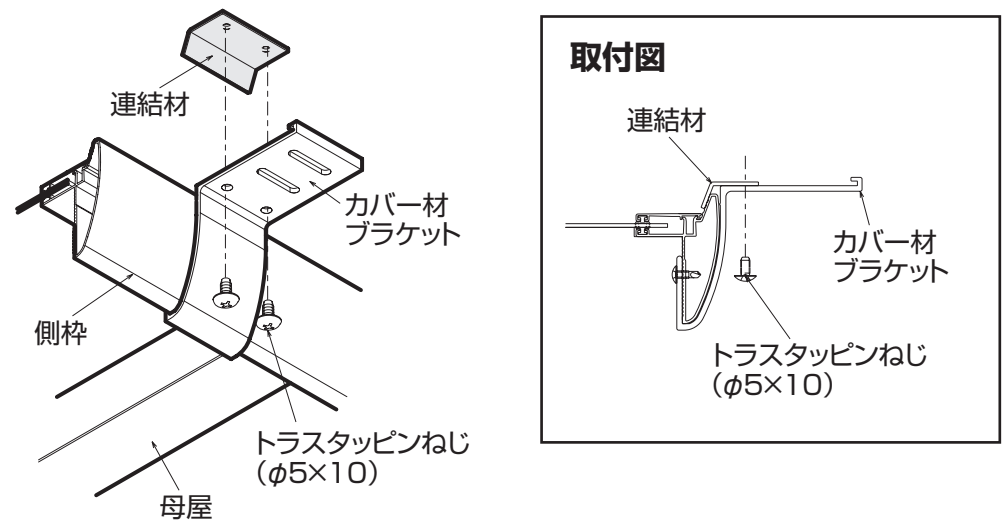
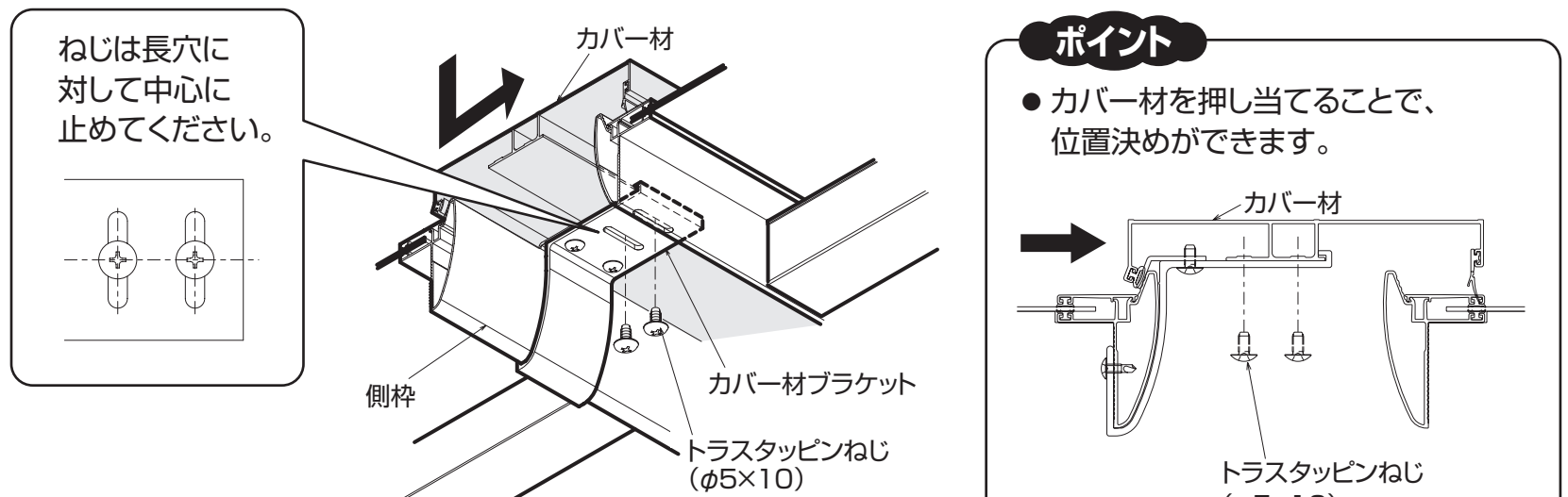
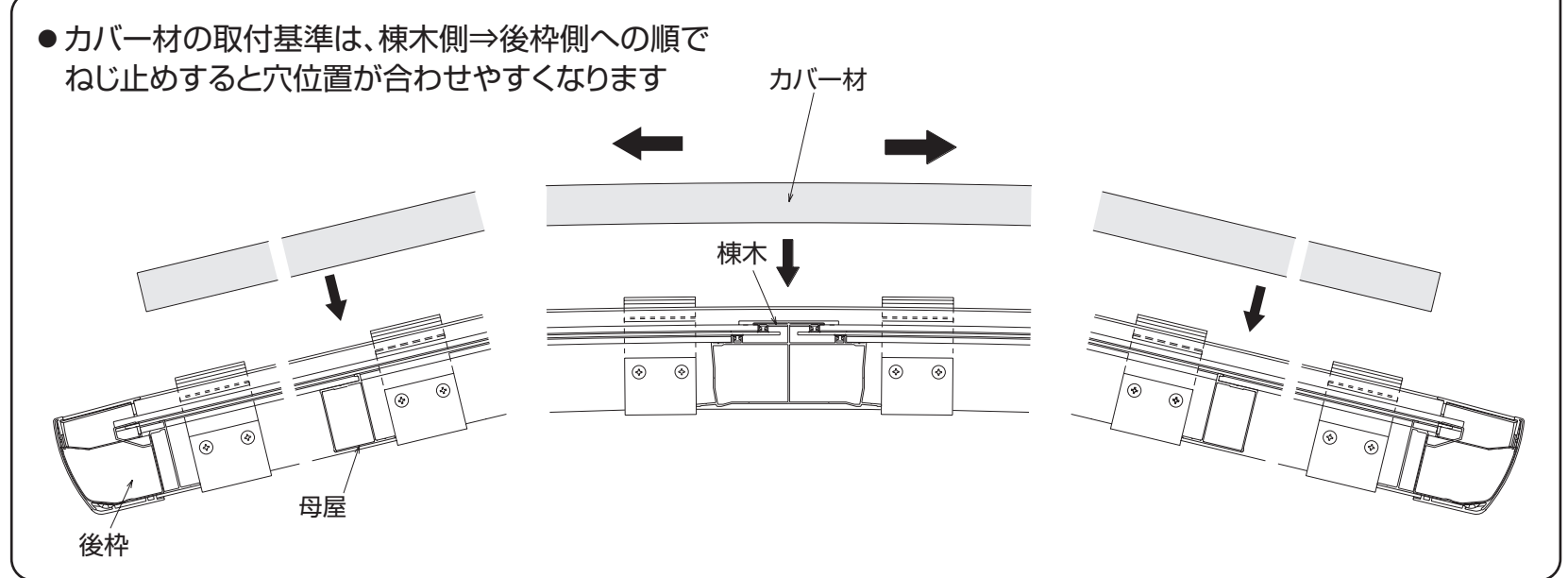
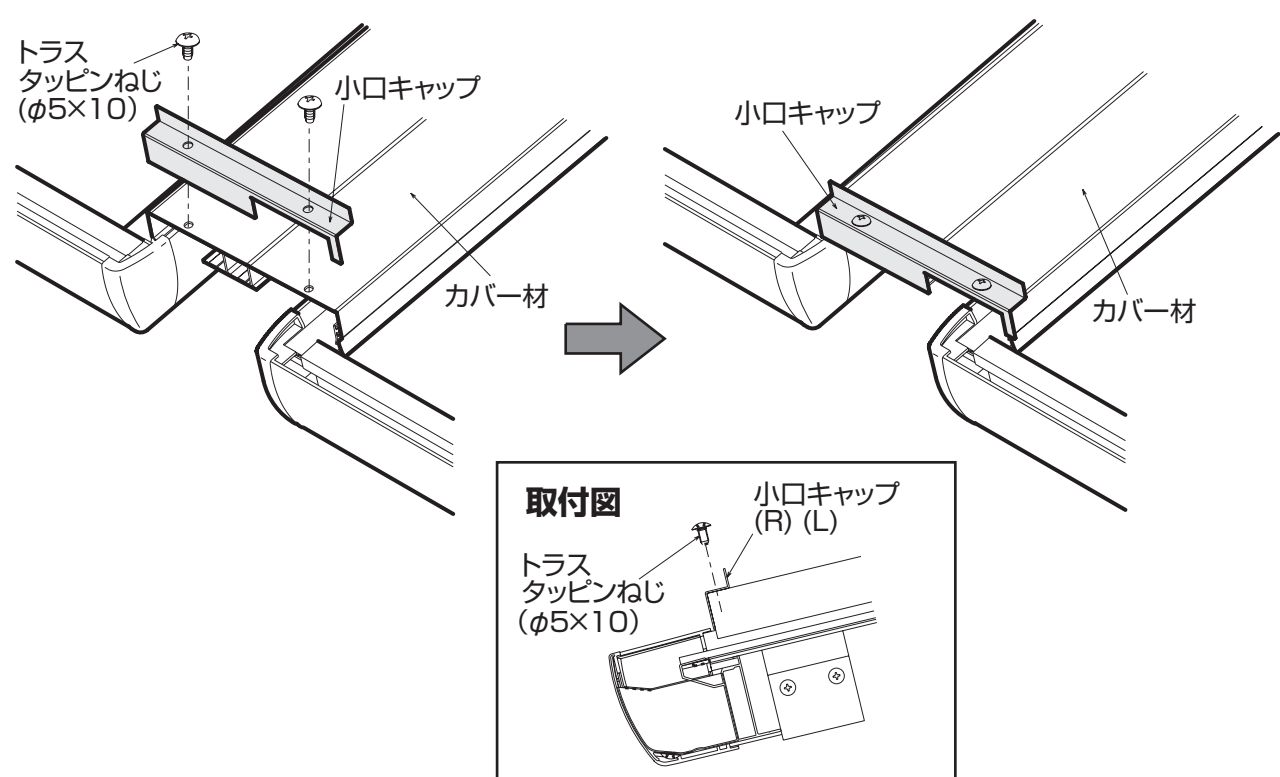
姿　図				――
品　名	トラスタッピンねじ(φ5×10)	トラスタッピンねじ(φ5×10)	トラスタッピンねじ(φ5×10)	組立･施工説明書
品　番	ET-5010	ET-5010	ET-5010	−
備　考	カバー材取付用	連結材取付用	小口キャップ取付用	
CCD-(DS)WK2-1	20	20	4	1
CCD-(DS)WK2-2	24	24	4	1

1. カバー材ブラケットの取付

片側の側枠に、屋根内側からカバー材ブラケットをねじ止めしてください。

固定位置詳細

2. 連結材の取付

連結材
カバー材ブラケット
側枠
トラスタッピンねじ(φ5×10)
母屋

3. カバー材の取付

4. 小口キャップの取付

お願い

母屋取付位置を変更した場合は、カバー材の穴位置が合わなくなります。
現合で下面よりカバー材にφ4.5の下穴をあけてからねじ止めしてください。